

1 主題名 広い心で 2－(4) 寛容・謙虚

2 資料名 ブランコ乗りとピエロ (私たちの道德 小学校5・6年 文部科学省)

3 ねらい 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする態度を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする道德的価値について

人の考えや意見は多様であり、それが豊かな社会をつくる原動力にもなる。そのためには、多様さを相互に認め合いながら高め合う関係を築くことが不可欠である。自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めることで、自らを高めていくことができる。また、自分も失敗や過ちを犯すことがあると自覚し自分に対して謙虚であることで、他人に対して寛容になることができる。このように、寛容さと謙虚さが一体のものとなったとき広い心が生まれ、それは人間関係を潤滑にするものとなる。

しかし、人は、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方的に非難したり自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自分本位に陥りやすい弱さをもっている。自分が成長の途中にあり、至らなさをもっていると、自分を謙虚に見ることについて考えさせることが大切である。多様な人間が、共によりよく生き、よりよい社会を作っていくためにも、また、今日の重要な教育課題であるいじめの未然防止のためにも、互いの違いを認め合い、理解しながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育てることが重要である。

(2) 児童の実態について

本学級には、大変明るく個性豊かな児童が多い。男女ともに活発な児童が多く、休み時間等には学級の仲間と楽しく会話したり遊んだりする姿をよく目にする。授業時間には友達同士で問題を解き合い、教え合いながら学習する姿も見られ、助け合いの精神は比較的高いと感じられる。

しかし、いくつか気になる言動がみられる。トラブルになりやすい友達に対しての言葉遣いや態度、下級生に対しての接し方などにおいて、相手の気持ちや立場を考えたり理解したりせずに自己主張をするなど、一方向的なかかわりをする弱い一面が窺える。また、体育のゲーム型運動、休み時間の遊びの内容やルールなどで言い争ってけんかになってしまうこともある。間違いや失敗をした友達に対して、「だいいょうぶ?」「～するといいよ。」と相手への配慮がある言い方をする児童が多いが、「だめやぞ。」「なにしとる!」と自分の苛立ちや腹立たしさを表出してしまい、冷たい言い方をする児童もいる。特定の友達にだけ優しく接するのではなく、誰に対しても相手の立場を大切にして接していこうとする道德的実践力を育てていく必要がある。

一方、自分の考えをあまり主張せずに、強く主張する友達の意見に流されてしまう児童も気になる。また、周囲の大多数と違う意見や行動になることを嫌う傾向もある。国語科の討論会や学級活動の話し合いなどでは、少数派の意見にも耳を傾けて聞こうとしているが、普段の生活の様子からはまだまだ自分の思いが中心にあるといえる。

(3) 資料について

本資料は、サーカス団のリーダーであるピエロの心情を中心として構成したものである。ピエロは自己中心的な振る舞いをするブランコ乗りのサムに、一方向的に腹を立てていた。しかし、必死に頑張るサムの姿に接し、広い心と謙虚さを取り戻し、互いの心を通わせる物語である。サムは身勝手な所があるが、誰よりも真摯に演技に向き合っていることに気付いたピエロは、サムを受け入れ、サーカス団の大切な一員であること、サムに見習うべき面があることを他のメンバーに諭す。また、ピエロに認められたサムも自分の振る舞いを改める。ピエロとサムの心の動きや変容をとらえることで、人に広い心で接して、自分と異なる立場や考えを受け入れることの大切さについて深く考えるために本資料は適していると考えられる。

5 指導にあたって

気付く段階では、先に記入済みのアンケートをいかし、相手と意見や考えが合わず、困ったことについて発表し合う。また、「わたしたちの道徳」のイラストを活用し、考えが合わずに困ったり言い争ったりした経験が多くの人にあることを感じ取らせ、人との付き合い方について考えるという価値の方向付けをする。

深める段階では、中心発問で、サムに態度に腹を立てていたピエロが変容した心情について考えるために、「あんなに腹を立てていたのに、ピエロは、なぜサムを責めなかったのでしょうか。」と問いかける。サムに立場に立って考えれば、「サーカスを成功させたい。お客さんのために精一杯やりたい。」という思いや考えがある。ピエロは、演技中や演技後のサムに姿から、その思いに気付き、己を省みて、サムを受け入れることができた。児童の反応をみながら、「ピエロは何を見たのですか。」「何に気付いたのですか。」などの補助発問をして、サムに思いに気付いたピエロの変容を考えさせる。また、責めるだけでは関係は悪くなり状況が良くなっていかないことも考えさせたい。さらに、資料の話し合いを受けて、価値について考えるための深めの発問をし、相手の立場を考えた寛容な広い心の大切さに気付かせたい。また、話し合いの際には、友達や保護者の方とかかわりながら自分の考えをまとめられるように、小グループでの話し合いの時間を充分にとる。保護者の方にもグループに入ってもらうことで価値理解、他者理解が深まると考える。

見つめる段階では、普段の生活を見つめ直し、自分は相手の立場や考えを認めることができているか振り返りたい。

あたためる段階では、相田みつをさんの詩を紹介し、ぶつかり合っていることよりも、やわらかく接する良さを伝え、相手のことを認める気持ちを育んでいきたい。

【研究とのかかわり】

・「価値について考えるための深めの発問」について

「あんなに腹を立てていたのに、ピエロは、なぜサムを責めなかったのでしょうか。」を中心発問とし、ピエロの思いや意図を考えることを通して、異なる意見や立場であっても、認めて受け入れることの大切さを考える。そして、「まわりの人と付き合っていくときに、大切なことは何でしょう。」と深めの発問をし、相手の立場に立ってみることを、思いや考えをわかろうとすること、考えが違って相手を受け入れようとするのが人間関係を良くしていくことに気付くようにしたい。

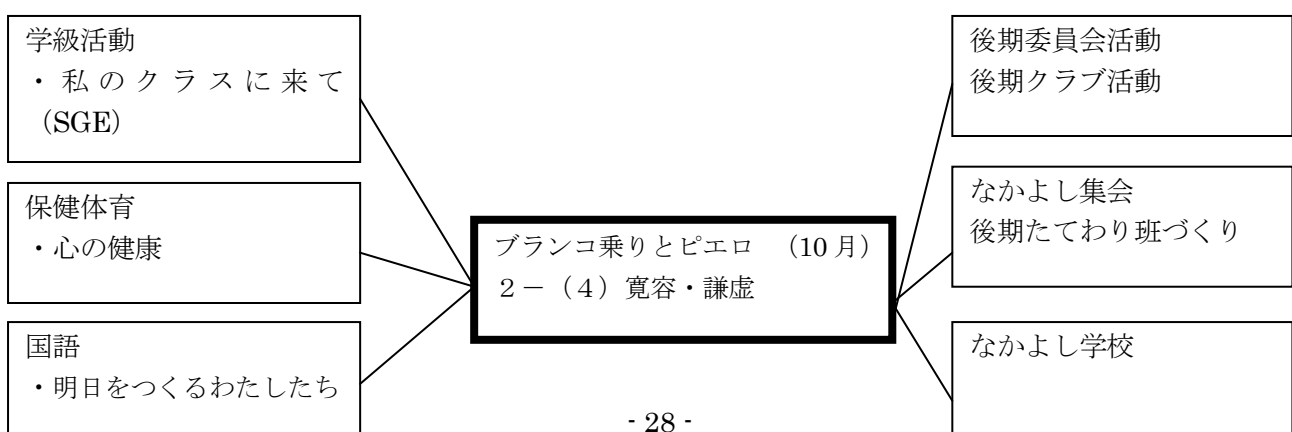
・「児童同士の対話の充実」について

本時では中心発問について、小グループでの対話を促す。児童らの小グループに保護者の方にも1名ずつ入ってもらい、一緒に話し合う場を設定する。友達だけでなく大人の方との対話を通して、新たな考えに気付いたり自分の考えを深めたりできるようにしたい。小グループでの話し合いの後に全体交流をする。そこで、自分の考えがより深まったことや深まった理由を全体で発表し合い、交流の質を高めたい。

・「補充・深化・統合」について

「寛容・謙虚」について、これまで考える機会が少なかったため、本時は「補充」の時間ととらえる。相手の立場に立って考える「思いやり」からさらに一歩進めて、相手の考えを認めて受け入れるという価値について考えたい。

6 他の教育活動と本時の位置付け



7 資料分析

場面	登場人物の心の動き (ピエロ)	登場人物の心の動き (サム)	◎中心発問 ○基本発問	○深めの発問
○大王アレキスを招いてサーカスの初日が始まり、ブランコ乗りのサムにピエロが注意するところ	<ul style="list-style-type: none"> ・サムに態度にピエロはいつも腹を立てていた。 ・「いつものように一人で目立って、時間をのばすんじゃないぞ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「またお説教か。あんたも目立ちたいんだろ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ◎カーテンのすき間からサムの演技を見ていたピエロは、どう思っているのでしょうか。 	
○ブランコ乗りのサムが自分勝手に演技するところ	<ul style="list-style-type: none"> ・「あれほど言っておいたのに。」ピエロはこみ上げるいかりをこらえながら、見上げていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演技を終えてぐったりしているサム。 		
○サムと通路ですれ違ったところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ピエロは一瞬立ち止まりかけたが、足早にゲートにむかった。 ・いつも以上に力が入っているように見えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の何が悪いというんだ。」サムは腹を立てていすをけりたおした。 		
○控室でピエロが語る場所	<ul style="list-style-type: none"> ・「サムの演技と後のつかれ果てた姿を思い出しているうちに、にくむ気持ちが消えてしまった。」ピエロのおだやかな目がサムの目をみつめた。 ・「サムのおかげでいい演技ができた。おたがいに自分だけがスターだという気持ちは捨てなければならぬ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・うつむいているサムの耳に強く残った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎あんなに腹を立てていたのに、ピエロは、なぜサムを責めなかったのでしょうか。 	
○成功したサーカスの最終日のところ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけがスターだという気持ちを捨てた二人にとって、一緒にいることは少しもつらくなかった。 ・団員達の明るい笑い声に包まれていた。 			○まわりの人と付き合っていくときに、大切なことは何でしょう。

8 本時の学習活動

(1) 準備 挿絵, ワークシート, 相田みつをの詩

(2) 展開

過程	学習活動	＜教師の働きかけ＞ ・予想される児童の考え 《中心発問》での反応の類型化 ▽□◇	◎評価 ・指導上の留意点
気付く 7分	1 相手と意見が合わず、困ったことを発表する。	＜相手と意見や考えが合わなかったことを発表しましょう。＞ ・遊ぶ時に、何をするかで、友達と言い合いになった。 ・遊んでいるときに、ルールのことではんかになって困った。 ・なかよし学校の班活動で意見が合わなくて困った。 ＜「自分は自分という気持ち」「相手が許せないという気持ち」「分かってほしいという気持ち」を感じた事がありますか。＞ ・許せないという気持ちになることがあるよ。 ・分かってほしいなと思うことは時々あるな。	・先に意見が合わなかった出来事をアンケートとして取っておき、発表し合う。 ・「わたしたちの道德」P81の画像を見せる。
深める 25分	2 資料「ブランコ乗りとピエロ」を読んで話し合う。	＜カーテンのすき間からサムの演技を見ていたピエロは、どう思っているのでしょうか。＞ ・また言うことを聞かないでやっているな。 ・自分勝手に演技をするなんて、腹が立つな。 ・自分だけが目立ちたいんだろう。勝手なやつだ。 《あんなに腹を立てていたのに、ピエロは、なぜサムを責めなかったのでしょうか。》 <div>▽サムがぐったりする位に一生懸命だったから。 ▽サムの演技がすばらしかったから。 ▽サムが本気でやっているのがわかったから。 □私自身も目立ちたいという気持ちがあったのに、サムだけを責められないから。 □自分はサムほど精一杯にやっているか、振り返って考えたから。 ◇身勝手な面もあるが、サムのサーカスの演技への熱意は認めてあげようと思ったから。 ◇自分勝手な行動は直してほしいが、サムの思いはみんなにもわかってもらいたいから。</div>	・ワークシートに書くことでじっくりと考えさせる。その後、グループで話し合いをする。グループに保護者の方にも入ってもらい、一緒に話し合う。 ・「ピエロは何を見たのでしょうか。」と補助発問をする。 ・教師が児童の意見を分類しながら板書する。 ◎広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとしている。(ノート)
見つめる 8分	3 自分のこれまでの言動を見つめる。	＜まわりの人と付き合っていくときに、大切なことは何でしょう。＞ ・相手の話や気持ちを聞いてあげること。 ・自分のことだけでなく、相手のことも考えてあげること。 ・違う意見や考えでも認めてあげること。 ・相手を責めるばかりじゃなくて、わかってあげること。 ＜自分のふだんの行動はどうでしょうか。相手の意見や考えを認めたり受け入れたりできたことはありますか。＞ ・何で遊ぶかを決めていたとき、友達とやりたいことがちがったけれど、順番を話し合って決めて、どっちもできるように考えた。 ・グループで調べることを決めたとき、自分の考えを言うだけでなく、友達が何を調べたいと思ったのか聞くことができた。	・自分の行動を振り返り、思いつかない児童には今後心がけたいことを考えるように促す。
あたためる 5分	4 学習を振り返る。	＜先生が紹介する詩を聞きましょう。＞ ・セトモノって自分の心にもあるなあ。 ・われていたらうまいかないなあ。 ＜今日の授業の振り返りをしましょう。＞ ・人はそれぞれ考えがちがうけど、ちがうといって否定するんじゃなくて、相手の考えをわかってもらったり、認めようとしていたりするといいんだな。広い心に少しでもしていきたいな。	・相田みつをの詩を紹介する。

思考の深まりの順に▽□◇

(◇ 目指す児童の思い)

太字：深めの発問